



目次 奥付等

雑誌名	東京女子医科大学雑誌
巻	87
号	3
発行年	2017-06-25
URL	http://hdl.handle.net/10470/00031731

doi: 10.24488/jtwmu.87.3_Toc3(https://doi.org/10.24488/jtwmu.87.3_Toc3)

■総説 循環系の基礎と臨床

- (3) 高血圧…………… 森本 聡・市原淳弘… 49- 54

■報告

急性呼吸不全で集中治療を要し、

重症筋無力症クリーゼの診断に至った 1 例…………… 篠崎啓介・貞広智仁… 55- 60

全身麻酔中に非 IgE 介在性のアナフィラキシーを

引き起こした 1 例…………… 長田宜子・市川順子・丸渕貴仁・

貞安 令・西山圭子・小森万希子… 61- 65

PPI, ヨクイニン併用経口治療が著効した

広範囲食道乳頭腫の 1 例…………… 福田千文・長谷川正治・岡本史樹… 66- 69

■第 82 回東京女子医科大学学会総会 シンポジウム Part 2

- (1) 医学物理士・がん専門放射線治療技師養成の取り組み（その 1）…………… 吉川宏起・

奥山康男・嶋田守男・森口央基・馬込大貴・

佐藤昌憲・保科正夫・青木 清・瀬尾育式… 70- 74

- (1) 医学物理士・がん専門放射線治療技師養成の取り組み（その 2）

東京女子医科大学における医学物理士養成の

取り組み…………… 唐澤久美子・西尾禎治… 75- 79

JOURNAL OF TOKYO WOMEN'S MEDICAL UNIVERSITY

(TOKYO JOSHI IKADAIGAKU ZASSHI)

Volume 87 Number 3 June 25, 2017

Review: Circulatory System: Basic and Clinical Research

(3) Hypertension

Satoshi MORIMOTO, Atsuhiko ICHIHARA..... 49-54

Reports

A Case of Myasthenia Gravis Crisis Who Required Intensive Care for
Acute Respiratory Failure

Keisuke SHINOZAKI, Tomohito SADAHIRO..... 55-60

A Case of Anaphylactoid Reaction during General Anesthesia

Yoshiko OSADA, Junko ICHIKAWA, Takahito MARUBUCHI,
Rei SADAYASU, Keiko NISHIYAMA, Makiko KOMORI..... 61-65

A Case of an Extensive Esophagus Papilloma Treated Effectively with PPI and Coix Seed

Chifumi FUKUDA, Masaharu HASEGAWA,
Fumiki OKAMOTO 66-69

The 82nd Annual Meeting of the Society of Tokyo Women's Medical University:

Symposium Part 2

(1) Efforts towards Educational Training of Medical Physicists and Radiotherapy Technologists,
Part (1)

Kohki YOSHIKAWA, Yasuo OKUYAMA, Morio SHIMADA,
Hisamoto MORIGUCHI, Taiki MAGOME, Masanori SATOH,
Masao HOSHINA, Kiyoshi AOKI, Yasutsugu SEO..... 70-74

(1) Efforts towards Educational Training of Medical Physicists and Radiotherapy Technologists,
Part (2)

Educational Projects of Medical Physicists at Tokyo Women's Medical University

Kumiko KARASAWA, Teiji NISHIO..... 75-79

ことを報告した (Fig. 5)¹²⁾。血中可溶性 (P)RR 濃度は種々の病態において、臓器障害を反映したり、機能障害発症を予測する可能性が考えられる。血中可溶性 (P)RR 濃度は、降圧治療における治療効果判定・治療方針の決定において有用である可能性が考えられ、今後のさらなる検討が期待される。

その他：高血圧領域における新規治療法

現在、新しい作用機序による降圧薬 [中性エンドペプチダーゼ (neutral endopeptidase : NEP) 阻害薬, アンジオテンシン II 型受容体刺激薬, アルドステロン合成阻害薬など] が開発され、その有用性についての検討が行われている。さらに、SNA 抑制を目的としたデバイス治療 (腎除神経術, 頸動脈洞動脈圧受容体刺激療法), 高血圧ワクチン, 遺伝子解析を利用したテーラーメイドメディシンといった高血圧に対する画期的な新しい治療法の開発も進められている。これらの治療法が臨床応用され、降圧治療の質が向上することが期待される。

おわりに

高血圧に関してこれまでに得られてきた基礎的・臨床的知見についてレビューし、我々の検討内容について解説した。これまで数多くの降圧薬が開発・臨床応用され、降圧治療は目まぐるしい発展を遂げてきた。しかし、降圧治療中にも関わらず、臓器障害の進展を阻止することができない症例も数多く存在し、降圧治療の治療効果は未だ不十分と言わざるを得ない。高血圧の成因に関する知見が増し、有効な治療法・検査法が開発され、高血圧患者の QOL や予後がさらに改善されることが期待される。

開示すべき利益相反状態はない。

文 献

- 1) Shimamoto K, Ando K, Fujita T et al: The Japanese Society of Hypertension Guidelines for the Management of Hypertension (JSH 2014). *Hypertens Res* **37** (4): 253-390, 2014
- 2) Morimoto S, Sasaki S, Itoh H et al: Sympathetic activation and contribution of genetic factors in hypertension with neurovascular compression of the rostral ventrolateral medulla. *J Hypertens* **17** (11): 1577-1582, 1999
- 3) Morimoto S, Sasaki S, Miki S et al: Pulsatile compression of the rostral ventrolateral medulla in hypertension. *Hypertension* **29** (1 Pt 2): 514-518, 1997
- 4) Sasaki S, Tanda S, Hatta T et al: Neurovascular decompression of the rostral ventrolateral medulla decreases blood pressure and sympathetic nerve activity in patients with refractory hypertension. *J Clin Hypertens* **13** (11): 818-820, 2011
- 5) Morimoto S, Cassell MD, Beltz TG et al: Elevated blood pressure in transgenic mice with brain-specific expression of human angiotensinogen driven by the glial fibrillary acidic protein promoter. *Circ Res* **89** (4): 365-372, 2001
- 6) Sakuma T, Morimoto S, Aota Y et al: Efficacy of clonidine in patients with essential hypertension with neurovascular contact of the rostral ventrolateral medulla. *Hypertens Res* **33** (6): 633-637, 2010
- 7) Aota Y, Morimoto S, Sakuma T et al: Efficacy of an L- and N-type calcium channel blocker in hypertensive patients with neurovascular compression of the rostral ventrolateral medulla. *Hypertens Res* **32** (8): 700-705, 2009
- 8) Nguyen G, Delarue F, Burckle C et al: Pivotal role of the renin/prorenin receptor in angiotensin II production and cellular responses to renin. *J Clin Invest* **109** (11): 1417-1427, 2002
- 9) Cousin C, Bracquart D, Contrepas A et al: Soluble form of the (pro)renin receptor generated by intracellular cleavage by furin is secreted in plasma. *Hypertension* **53** (6): 1077-1082, 2009
- 10) Watanabe N, Bokuda K, Fujiwara T et al: Soluble (pro)renin receptor and blood pressure during pregnancy: a prospective cohort study. *Hypertension* **60** (5): 1250-1256, 2012
- 11) Watanabe N, Morimoto S, Fujiwara T et al: Prediction of gestational diabetes mellitus by soluble (pro)renin receptor during the first trimester. *J Clin Endocrinol Metab* **98** (6): 2528-2535, 2013
- 12) Morimoto S, Ando T, Niiyama M et al: Serum soluble (pro)renin receptor levels in patients with essential hypertension. *Hypertens Res* **37**: 642-648, 2014

循環系の基礎と臨床—掲載予定—

執筆者	所属	テーマ	掲載号
澤田達男	病理学 (第一)	1. 脳の微小循環	87 (1・2)
檜澤大樹	輸血・細胞プロセッシング科	2. 血管新生	87 (1・2)
森本 聡	高血圧・内分泌内科	3. 高血圧	87 (3)
瀧田守親	薬理学	4. 転移	87 (4)
江崎太一	解剖学・発生生物学	5. リンパ管発生	87 (5)
小川哲也	腎臓内科	6. 動脈硬化 (透析も含めた腎血管)	87 (6)

雑 報

○編集担当幹事会

日時 平成 29 年 3 月 6 日 (月) 17:30~

場所 総合外来センター 1 階 セミナー室

議題 東京女子医科大学雑誌 87 巻 3 号査読結果審議, 第 87 巻 (平成 29 年発行) 掲載シリーズ「循環系の基礎と臨床」, 今後の本誌発行形態~英文誌創刊とそれに伴う混合誌から和文誌への変換~

○集会担当幹事会

日時 平成 29 年 3 月 28 日 (火) 17:30~

場所 E 会議室

議題 第 355 回例会報告, 第 33 回吉岡弥生記念講演会, 平成 29 年評議員会, 第 83 回総会, 第 357 回例会, そのほかについて

日時 平成 29 年 4 月 25 日 (火) 17:30~

場所 E 会議室

議題 第 33 回吉岡弥生記念講演会, 平成 29 年評議員会, 第 83 回総会, 第 356 回例会, そのほかについて

編集後記

東京女子医科大学学会会員の先生方には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。東京女子医科大学雑誌 87 巻第 3 号をお届けいたします。本号では第 82 回東京女子医科大学学会総会シンポジウム「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン『都市型がん医療連携を担う人材の実践的教育』の成果」より医学物理士・がん専門放射線治療技師養成の取り組みからと題して駒澤大学 医療健康科学研究科 教授 吉川宏起先

生, 本学放射線腫瘍学 教授・講座主任 唐澤久美子先生に総説としてその内容をご執筆頂きました。がんプロフェッショナル養成に関わる力作であり, それぞれ駒澤大学と東京女子医科大学における医学物理士養成の取り組みが紹介されています。また森本 聡先生に総説「循環系の基礎と臨床 (3) 高血圧 (Circulatory System: Basic and Clinical Research (3) Hypertension)」をご執筆頂きました。高血圧の成因に関する新知見や新しい有効な治療法について紹介されています。さらに貴重な症例報告として篠崎啓介先生の「急性呼吸不全で集中治療を要し, 重症筋無力症クリーゼの診断に至った 1 例 (A Case of Myasthenia Gravis Crisis Who Required Intensive Care for Acute Respiratory Failure)」, 長田宜子先生の「全身麻酔中に非 IgE 介在性のアナフィラキシーを引き起こした 1 例 (A Case of Anaphylactoid Reaction during General Anesthesia)」, そして福田千文先生の「PPI, ヨクイニン併用経口治療が著効した広範囲食道乳頭腫の 1 例 (A Case of an Extensive Esophagus Papilloma Treated Effectively with PPI and Coix Seed)」の 3 篇を掲載しております。

東京は 5 月に入り早くも最高気温 31 度を記録して暑い日が続いております。北海道で生まれ育った私にとってはなんとも過ごしづらい季節がまたまたやって参りました。皆様におかれましてはご自愛ご他愛の程よろしく東京女子医大をなお一層盛り上げて頂ければと祈念致しております。そのことに東京女子医科大学雑誌が少しでもお役に立てたのならば, 編集担当幹事会一同の喜びこれに勝るものではありません。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

(2017. 5, 田中淳司)

編集担当幹事: 阿部光一郎	江川裕人○	渕之上昌平	萩原誠久	林 和彦	平澤恭子
稲田 健	石田英樹	神尾孝子○	糟谷英俊	木林和彦	北川一夫
松井英雄	森本 聡	南家由紀	野中 学	櫻井裕之	澤田達男◎
篠崎和美	杉原茂孝	杉下智彦	玉置 淳	田中淳司	谷口敦夫
徳重克年	内田啓子	山口直人	(ABC 順, ◎幹事長, ○副幹事長)		

東京女子医科大学雑誌 87 巻 3 号: 平成 29 年 6 月 25 日発行 (偶数月発行)

Journal of Tokyo Women's Medical University Vol. 87 No. 3: June 25, 2017

発行者: 吉岡俊正

発行所: 東京女子医科大学学会

事務局: 〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1 東京女子医科大学 中央校舎 3 階 学会室

Tel & Fax: 03-5269-7403/E-mail: gakkai.bi@twmu.ac.jp

購読料: 年会費 6,000 円に含む。1 冊定価 1,000 円 (税・送料共)

振込先: (銀行振込) 東京女子医科大学学会 会長 吉岡俊正

三菱東京 UFJ 銀行 東京女子医大出張所 普通 3643723

(郵便振替) 東京女子医科大学学会 00150-4-4342

印 刷: 株式会社杏林舎 〒114-0024 東京都北区西ヶ原 3-46-10 Tel: 03-3910-4311/Fax: 03-3949-0230

* 本誌の内容を無断で複写・複製すると, 著作権・出版権の侵害になりますのでご注意ください。